

Let's クリーン益田川

益田川下流域水環境再生協議会

(アンダンテ 21、コアラッチ、益田保健所、益田県土整備事務所、益田市、ダイワボウレーヨン、吉田公民館、地球温暖化対策地域協議会)

◎ 「川がきれいなまち」を目指して

アンダンテ 21 は、高津川流域の自然環境を活かしたまちづくりを展開しています。森・川・海での環境保全や教育活動を行う中で、「清流」高津川の横を流れる「もうひとつの川」にも目を向けるようになりました。

高津川と比べ水質も悪く、「汚い」というイメージの強い益田川をなんとかしたいと、平成 25 年に河口の漁業者らと「益田川と海をつなぐ自然環境保全活動組織」を結成。住民や学校と行う一斉清掃（年間 300 名以上が参加し、約 1 トンの河川ゴミを回収）や、ヨシ帯保全のための刈取りと焼却、生態系調査等の活動を益田川で開始しました。

さらに平成 27 年には、行政や地元企業と「益田川下流域水環境保全協議会」を発足。様々な要素が複雑に絡み合った環境問題について、協働取組の実現を目指しています。

問 NPO 法人アンダンテ 21 事務局 ☎ 24-8661



皆さんもぜひ、私たちと一緒に益田川をきれいにしませんか？

◎ 浄化槽を正しく使って、益田川をきれいに！

市内の代表的な河川に高津川と益田川があります。このうち益田川の下流域は、残念ながら水質環境基準の未達成が続いています。その原因の一つとして、各家庭から出る生活排水やし尿を処理する「浄化槽」が、きちんと管理されていないことも考えられます。

浄化槽は微生物によって分解処理し、365 日、毎日休むことなく働く装置です。使用方法によっては正常に機能しなくなることがあるため、次の 3 点を守ることが大切です。

- ① 浄化槽の機能を妨げる物を流さない（使用済み油はなるべく流さない、便器の洗剤は適正に使うなど）
- ② 「保守点検」と「清掃」を行い、浄化槽内の環境を良好に保つ
- ③ 「法定検査」を受検し適正に管理されていることを確認する

浄化槽を正しく使って、住み良い環境を守り、みんなできれいな益田川にしていきましょう。

なお、浄化槽を設置する際は、県で登録または届出された浄化槽工事業者にお願いしましょう。

※詳しくは島根県ホームページをご覧ください。



島根県 浄化槽 で 検索 問 益田保健所 ☎ 31-9553

◎ 下水道の役割

まちをきれいにします

下水道を整備することにより、側溝や川に汚水が流入しなくなるので、悪臭や蚊、ハエの発生を防ぎ、まちが清潔になり生活環境が改善されます。

生活が快適になります

トイレが水洗化され、快適に生活できます。

自然環境を守ります

川や海を汚している大きな原因は家庭からの排水です。下水道を整備することにより、家庭・事務所や工場からの排水を浄化して川に放流するので、川や海がきれいになります。

問 市下水道課 ☎ 31-0323

